

地域防災の取り組み

災害対策支援

◆TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）

TEC-FORCEは、大規模自然災害が発生、又は発生するおそれがある場合に、地方公共団体等が行う災害応急対策に対する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施することを目的としたものです。

国土交通省、国土技術政策総合研究所、国土地理院、地方整備局、気象庁に設置され、大規模自然災害が発生したときは、被災地にTEC-FORCEを派遣し、被害状況の調査、被害の拡大防止、早期復旧に関する地方公共団体の支援を行います。

甲府河川国道事務所でも平成30年2月の福井県の豪雪及び平成30年7月中国・四国の豪雨では、被災地にTEC-FORCE隊員を派遣し支援を行いました。



◆災害対策用機械（甲府河川国道事務所に配備）

甲府河川国道事務所には、以下の災害対策用機械が配備されています。

平成28年4月の熊本地震では、待機支援車の派遣を行いました。（災害対策用機械は、地方公共団体の要請により貸付が可能であり、年に1度、国土省の職員、自治体の職員、地方公共団体の職員及び国土省災害協力協定会社と合同の操作訓練を行っています。）

照明車（2台）



照明灯
2,000w×6灯
(2台)

- ・夜間作業現場及び避難所を照明
- ・発電機を装備し、電源供給も可

対策本部車（1台）



約20㎡の
作業スペース
(10名程度収容)

- ・対策本部として情報収集、復旧作業の指揮、対策検討、他機関との連絡の拠点

待機支援車（1台）



最大9名分の
仮眠ベッドを確保

- ・収納式ベッド、トイレ等を装備
- ・休憩、仮眠施設として機能
- ・最大9名の人員輸送が可能

衛星通信車（1台）



- ・災害現場における通信手段の確保や情報を収集
- ・山間部等の通信困難地域でも対応が可能

排水ポンプ車（4台）



排水能力

30㎡/min 3台
60㎡/min 1台

- ・市街地等にたまった水を河川へ排水

情報発信

◆河川情報と水防◆

富士川は、急流河川のため洪水の流出が早く、水防活動には迅速な対応が求められます。平成10年度から光ファイバー網の整備に合わせ、出水状況や河川空間等を確認出来るカメラ及び排水樋管等の遠隔操作設備の整備を進めています。それらの活用により水位・雨量等の河川情報を他の防災情報と共有化し、はん濫想定に基づく避難など危機管理体制を強化する事で、水防活動等に活かしています。



▲CCTV

◆洪水予報◆

洪水予報は、洪水から地域を守る水防活動や住民が自らを守るために必要な重要情報です。洪水時には、気象庁と共同で洪水予報を発表します。



○洪水情報をわかりやすく提供します。
洪水情報は、情報の受け手である住民や市町村の防災担当者、報道機関等に正確に理解され、的確な判断や行動につながる内容や表現にしています。

◆水位などの情報はホームページから◆

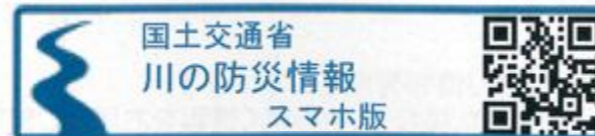
「富士川水系情報提供システム」では、気象情報や河川の水位、洪水予報、ライブカメラ映像など、大雨や洪水時に必要な情報を見ることができます。また、国が管理する河川の浸水リスク情報も見ることが出来ます。



<http://kofu-river-bosai.ktr.mlit.go.jp/>

◆富士川の水位や情報はインターネットや地上デジタル放送（データ放送）でもご覧いただけます◆

<http://www.river.go.jp/>



ご家庭のTVのリモコンの「dボタン」を押して、TOPメニューの「防災・生活情報」を選び、メニュー「河川水位・雨量情報」を選択します。



